



前号に引き続き、橋本給付金に関するものなど、当基金へ寄せられたお葉書をご紹介します。

橋本給付金とは

交通遺児基金が設立された昭和55年、静岡県熱海市の病院で療養していた橋本むつさん(当時81歳)は、「交通遺児たちの勉強に役立ててください」と自分の不動産を処分した3億円を交通遺児育成基金に寄付してくださいました。そして、このご好意を末永く生かすために始まったのが「橋本給付金」です。

むつさんは「私は、人生の間にいろいろな人と出会ってきましたが、人には教育が一番です」とおっしゃっています。そのご遺志を受け継ぎ、今なお橋本給付金は多くの遺児たちの教育に役立っているのです。



東京都

K・Mさん

主人がいなくなって8年。息子は父親がいなくなっても寂しい素振りも見せず、元気にすくすくと成長しています。先日購入した靴は、主人と同じサイズで、なんと27cm。ビックリしました。母親として嬉しくもあり、子離れが近づいているのだと、寂しくも感じる今日このごろです。

富山県

Y・Tさん

4月から長女が中学校へ入学し、新たな生活が始まりました。吹奏楽部への入部も決まり、待望のフルートができるのを楽しみにしております。長男も今年より野球を始めたため、毎週休みがありません。忙しい毎日ですが、子どもたちの成長に驚かされながら、過ごしております。

山口県

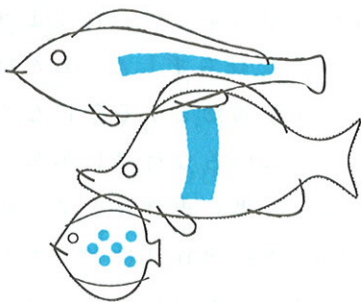
N・Sさん

早いもので、ふたりの子どもの母がなくなり、4年が経ちました。多くの人々の慈しみを頂き、子どもたちは元気に成長しております。将来への不安は拭いきれませんが、子どもたちの明るさに助けられ、がんばっております。

山梨県

S・Eさん

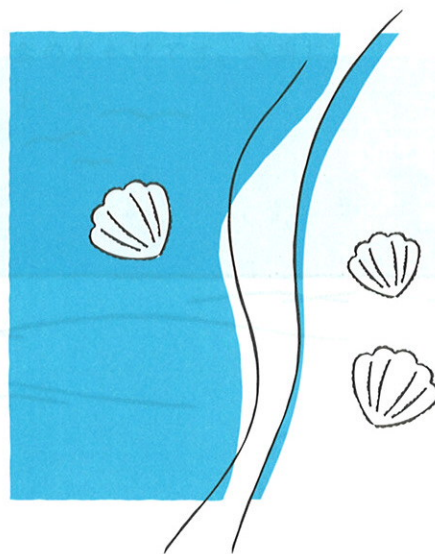
昨年12月に主人の13回忌を行うことができました。長くもあり、短くもあった13年間でした。当時、4歳と2歳のふたりの子どもも高校3年、高校1年となります。今は事故も私にとっては「人生の大きな経験」とプラス思考に考えられるようになってきましたが、これまでに何度となく落ち込んでしまい、そのたびに友の会が心の支えになっていました。友の会の旅行で、大きなお子さんを見ると「早くうちの子どもも、こんなに立派になって欲しい」と思っていました。これからも、元気に明るくがんばっていきたいと思います。



大阪府

O・Yさん

主人が亡くなったのは、娘が小学校入学前でしたが、無事今年卒業でき、嬉しく思っています。子どもたちに支えられ、あっという間の6年でした。今年、長男も希望の大学に合格し、次男も無事に志望校へ高校進学いたしました。それぞれ新たな道を進もうとしています。母親としてこれからも、出来る限りがんばっていかこうと思っています。



山口県

A・Yさん

長期に渡り、ご支援をいただき本当にありがとうございました。お陰で子どもはこの4月に専修学校2年生に元気で進級し、来春には有為な社会人として貢献することが目前となって参りました。大変お世話になりました。

※スマイルズ編集部では、ご父兄の皆様からのお便りも募集しております。お子様の成長の様子、普段の生活であったことなど、どしどしお送りください。

北海道

O・Yさん

主人が他界して、10年です。おかげさまで、ふたりの子どもも元気に過ごしています。いつもお心遣いありがとうございます。長男はそろそろ独り立ちしていけそうですが、長女は肢体不自由で、知的障害もあり、年々体力が落ちてきていますが、なんとかがんばって学校へ通っています。今後ともよろしくお願いいたします。

北海道

S・Tさん

おかげさまで、息子は無事希望の高校に合格し、毎日忙しいながらも充実した高校生活を送っています。早いもので主人が亡くなってから10年が経ちましたが、主人と私の両親、そして周りの方々に助けられ何とかここまで来ることができました。また、基金の存在は大変心強く、すべて息子の塾やピアノ等、養育費に使わせていただいています。本当に感謝しております。



北海道

W・Yさん

おかげさまで下の子も小学校へ入学し、新しい出発点に立った気持ちでいます。今では子ども3人が同じ時間に登校しますので、私自身も、少し自分の時間が持てております。橋本給付金でいただいた目覚まし時計を、とても気に入って毎朝使っております。本当にただただ感謝です。

宮城県

M・Mさん

皆様にはますますご清栄のことと存じます。私どもが皆様のお世話をいただくようになり、13年の年月が経ちました。おかげさまで子どもは、就職活動をする年になりました。子どもといろいろな行事に参加させていただき、楽しい思い出作りができました。子どもの頃の思い出作りはとても大切なことだと思います。本当にありがとうございます。

福島県

K・Yさん

子どもが5人いますので、思いもよらず養育費がかかってしまいます。5人ともまだ勉強中ですので、とてもありがたく思っています。無駄にならないよう、子どもたちにもこの基金の内容を話し、将来人の為に働ける、思いやりのある人間に育てていきます。

神奈川県

Y・Hさん

娘も大学2年になり、元気に学校へ通っています。日々の生活に追われ、ご無沙汰続きで申し訳なく思っておりましたが、時折の便りとともに、物心両面で支えていただき、本当にありがとうございました。支えがなくなるのは少し寂しいという気持ちもありますが、がんばって生活していこうと思います。

愛知県

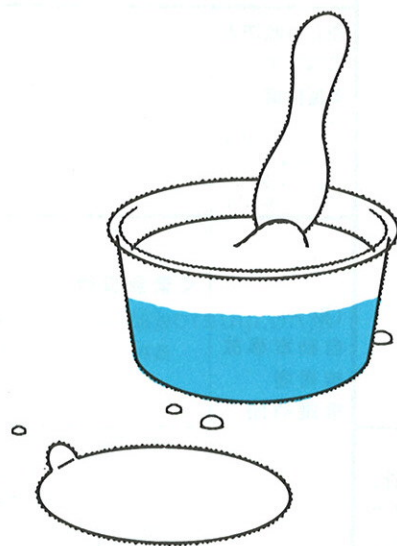
I・Mさん

愛しかった二女が事故死いたしました。本人が事故の1年前に生命保険に加入していたことを知り、孫のために有効に活用したいと思っていたところ、基金を勧められ入会させていただきました。どの子も明るくのびのびと成長いたしました。入会して本当に良かったと感謝しております。

大阪府

T・Hさん

長い間、お世話になり、息子も19歳を迎え交通遺児基金からも卒業となりました。4歳で遺児となり、基金に加入させていただき、普通の家庭の子どもと何も変わらず、すくすく成長できました。今は大学生活を楽しんでいます。大学に通えるのも基金のおかげで、少しずつ貯金したお金で通っています。ゼミ、クラブ、地域活動と、多忙な生活を送っています。こんなに生き生きと生活できるのも、支援してくださった基金のおかげです。本当にありがとうございました。



※スマイルズ編集部では、ご父兄の皆様からのお便りも募集しております。お子様の成長の様子、普段の生活であったことなど、どしどしお送りください。